



自転車 のルール違反は 車 からこう見える



自転車に乗る人に知ってほしい車の視点



自転車に関連する交通事故の大半は、車との衝突。
事故に遭った自転車の多くが交通ルール違反を犯しています。
何のためにルールがあるのか、ルール違反はなぜ事故につながるのか。
より確かな理解のためには、車の視点を知ることが大切です。
車からの自転車の見え方、ドライバーの考え方を手がかりに、
自転車事故を防ぐためのポイントを見ていきます。

監修

近畿大学 准教授
主幹総合交通心理士

島崎 敢



東映株式会社 教育映像部

〒104-8108 東京都中央区銀座3-2-17
<https://www.toei.co.jp/edu/>

上映時間 18分

[C#7499]

DVD 70,000円(税込77,000円)

字幕付き

自転車^{のルール違反は}車^{からこう見える}

自転車に乗る人に知ってほしい車の視点

出会い頭の衝突事故

ルールの解説 自転車事故で最も多いのが出会い頭の衝突。一時停止の交差点や見通しの悪い交差点での正しい通行方法、安全確認の重要性について解説します。

車の視点は… 直前で飛出されると急ブレーキも間に合いません。また、優先道路を走行するドライバーには「脇道からの車両は止まるはず」という意識が働きがちです。



速度を落とし 左右から車が来っていないか



ドライバーが最も注意するのは右から近づく車

右側通行の危険

ルールの解説 左側通行は交通ルールの大前提。これを守らないと正面衝突などの危険が生じ、さらに、ドライバーの意識の死角に入る可能性が高くなります。

車の視点は… 車が道路に出ようとする際、ドライバーの注意は右側に集中しがち。逆走自転車は左から近づくことになるため、ドライバーにとって予想しづらい存在です。

右折時に起きる事故

ルールの解説 自転車で右折する際は必ず後ろの安全確認が必要。正しい右折の方法を確認します。右折ルートの誤り(ショートカット)も事故の大きな原因となります。

車の視点は… 何の前触れもなく右折されると、後続の車は対処できません。また、ショートカット右折の自転車は、車から直前まで見えないため非常に危険です。



ショートカット右折

ショートカットで右折する自転車が



速度を下げて 車を先に行かせましょう

左折車に巻き込まれる事故

ルールの解説 左折車に巻き込まれる事故の大きな原因となるのが車の死角。死角に入らないことが肝心です。ドライバーとのアイコンタクトも、高い効果を発揮します。

車の視点は… 左折時は左後方を目視で確認するのが車のルール。しかし中には確認を怠るドライバーもいますし、荷台のあるトラックは構造上、目視ができません。

無灯火の危険

ルールの解説 夜間の無灯火は、自分自身はもちろん、周囲の車や歩行者にも危険を及ぼします。ライトの点灯は最低限のルール。明るい服装や反射材も活用しましょう。

車の視点は… 車からは、無灯火の自転車は近づくまでほとんど見えません。また、歩行者や他の自転車にとっても、暗闇から突然現れる自転車は大きな危険となります。



周囲に自分の存在を知らせる目的があります



歩道は自転車

いったん自転車を降り 押して歩くことが必要です

歩道を通行するときの注意点

ルールの解説 自転車で歩道を通行する場合のルールを解説。歩行者優先のルールを確認します。また、右側の歩道を通行する際の注意点に触れます。

車の視点は… ルール上はOKでも、右側の歩道を通行する自転車はドライバーにとって見落としがちな存在です。お互いにアイコンタクトで確認しましょう。

予告編配信中!

<https://www.toei.co.jp/edu/>

教育映像

検索

2022年作品

●本DVDは、ご購入いただいた官公庁(都道府県市区町村・視聴覚ライブラリー・教育委員会・警察・消防等)や事業所等での貸出し、非営利上映を行うことを前提とした商品です。著作権処理を行うことなく、上映会や研修会等でご使用になれます。

●本DVDについて次の行為に該当する場合は、使用の可否や別途料金等について、必ず当社までご相談ください。

・テレビでの放映・ビデオオンデマンド等による配信

●著作権者に無断で、作品の一部または全部を複製・改変・放送・有料上映・配信することは、著作権法違反となり処罰の対象になる場合があります。

●DVDビデオは映像と音声を高密度に記録したディスクです。DVDビデオ対応のプレーヤーで再生してください。パソコンなど一部の機種で再生できない場合があります。

企画・制作: 千葉エデュケーショナル株式会社

プロデューサー・演出: 川越英一 撮影: 松丸武彦 助監督: 片山昌志
ナレーター: 井川秀栄

販売元: 東映株式会社 コンテンツ事業部門 教育映像部

営業推進室 〒104-8108 東京都中央区銀座3-2-17 TEL.03-3535-3631

●お買い上げは……